

青山まさき通信



本年も皆様のご期待に全力で
お応えしてまいります。
ご意見・ご要望をお寄せください。

TEL&FAX.043(304)5019
<http://aoyama-masaki.com/>

■千葉市若葉区殿台町88-1
■発行者:青山まさき



Aoyama Masaki News 2016
Vol.03

平成27年11月27日から12月16日にかけて、第4回定例会が開催されました。

また、私にとりまして3回目となる一般質問をさせて頂きました。

質問の内容と答弁の要旨を報告します。

- テーマ
1. 消火栓・排水栓の使用とスタンドパイプの活用について
 2. 生活困窮者自立支援法について
 3. 子どもの貧困対策推進法について

Q 自主防災組織による初期消火活動に消火栓の活用を可能とすべきと考えるが。また、大規模災害時における飲料水の確保策として、避難所等に応急給水資機材・スタンドパイプの設置が必要と考えるが。



▲応急給水資機材
スタンドパイプ

A 消火栓の使用及びスタンドパイプの設置について、千葉県水道局と連携して取り組むと共に協議をしてまいります。(総務局防災対策課)

【要望】 「応急給水体制の強化に、有効な手段であると認識している」とのことですので、千葉県水道局との協議をしっかりとお願いし、推移を見守って行きたいと思います。

Q 平成27年4月より、我が公明党の推進により施行となった生活困窮者自立支援法における本市での生活自立・仕事センターの広報方法について伺う。

A 就労準備支援事業の対象となった方が、事業の一環として実際に「チラシの各戸配布」を行うなど相乗効果を期待した新たな方法も含めて、更なる広報の手段を検討してまいります。(保健福祉局保護課)

Q 子どもの貧困対策計画の策定への取り組みを伺う。

A 施策を総合的に推進するための計画策定は必要なものと認識しており、本市の実情を踏まえた状況を把握するための調査を実施し、計画策定に取り組んでまいります。(こども未来局こども未来部こども家庭支援課)

【要望】 早期発見・早期支援に向けての各部署・関連機関の連携が重要です。貧困の連鎖を断ち切り、生まれ育った環境で将来が左右されないよう、子どもの貧困対策を未来への投資と捉え、早期に実施していただくよう要望しました。



▲一般質問する青山まさき



千葉駅周辺の『活性化グランドデザインパーク』が策定されました

千葉都心では、JR千葉駅の駅舎・駅ビルの建替え、千葉駅西口地区および東口地区で実施・計画されている再開発事業など、駅周辺でニューアルの動きが出てきています。

本市として、この契機を捉え、千葉都心全体の魅力を高めるまちづくりの方向性を指示示す必要があると考えます。

これまで公明党千葉市議会議員団として、駅出口の方面ごとに特性を捉えたコンセプトを持ったまちづくりを推進すべきと訴えてまいりました。

活性化グランドデザイン策定にあたっては、千葉駅周辺の現状や価値・課題を明らかにし、活性化の方向性を示すとともに「エキナカ」だけに集客されることなく、



▲活性化グランドデザインパーク

市営住宅の募集戸数拡大を



市営住宅では、応募倍率が高く入居が困難な団地がありますが、その一方で、極端に倍率の低い団地が存在し、空き家状態の住宅も大変多くあることを指摘しました。特に、その一因として、浴槽・風呂釜が未設置の団地が多いことを問いました。

副市長からは、平成27年4月1日現在で募集可能な空き家が606戸あり、応募がなかった空き家の再募

集や単身者の入居要件の緩和と指摘を受けた浴槽・風呂釜の未設置が課題であることを認識し、それらを含めた住戸改善事業を進めていく旨の答弁がありました。



▲団地の風呂釜未設置の様子



▲団地の風呂釜未設置の様子

チビローネの整備推進を

現在25校に設置しており、28年度中に合計52か所に開設いたします。

高学年ルームは原則として、図書室を使用することとしており、図書室を使用することとしており、現在図書室以外を使用している16ルームについても可能な限り変更を行ってまいります。

時に解除されれば11時に開所、午前11時に解除されれば午後1時から開所とする方向で検討しています。

まっています。」との答弁がありました。

子ども・子育て新制度の施行に伴い、受け入れ対象が全小学生となり、高学年ルームの整備推進に向けた今後の事業展開や、気象警報発令時の対応について見解を求めました。

気象警報発令時には、児童の安

全を考え、学校と同様に、午前7時の段階で警報がでていれば、終生まで段階的に拡大をします。

副市長より、「29年度までに6年生まで段階的に拡大をします。

気象警報発令時には、児童の安全を考え、学校と同様に、午前7時の段階で警報がでていれば、終生まで段階的に拡大をします。

全部を考え、学校と同様に、午前7時の段階で警報がでていれば、終生まで段階的に拡大をします。

歩行環境整備および回遊性の強化や公共空間等を活用した街のにぎわいづくり等を求めてまいります。